

## 5年で売り上げ5倍 機密文書裁断・リサイクル



専用車内の大型シュレッダーで文書を裁断する

栃木県足利市の社会福祉法人足利むつみ会（阿由葉寛理事長）の障害者支援施設「社会就労センターきたざと」は、**全国の社会福祉法人で唯一、機密文書の裁断・リサイクル事業**を行っている。

1985年に開所した同施設は、生活介護30人、就労継続支援B型20人、A型10人からなる多機能施設。開所時から企業の下請け作業を中心にしてきたが、**バブル崩壊で作業が激減**。パンやクッキー製造などの自主生産型への移行を進める中で、2007年にアメリカ視察に出向いた阿由葉理事長が、障害者が軍から機密文書の裁断を請け負っている光景に出合った。

日本でも同様のことができると思った阿由葉理事長は、**県の補助金を活用**して、1時間に500キロを処理できる大型シュレッダーを搭載し、裁断した紙片をそのままゴミ収集できる専用車を購入。全日本機密文書裁断協会に加入して、2009年から事業を始めた。

裁断作業は、専用車に職員1人とB型利用者1～2人が乗って県庁や市町村役場、警察署、学校、企業などに出向き、担当者立ち会いで作業する。ホチキスの針などは一緒に裁断できるので問題ないが、大型クリップやバインダーを分別する作業が大変だという。

現在約200社と取り引きがあり、12月から3月までの繁忙期には、3台の専用車と1台のゴミ収集車がフル稼働する。裁断した紙片は、リサイクル事業者に古紙として買い取りしてもらうため、**裁断作業代と古紙代の両方が収益**になる。

13年度に319万円だった売り上げは、同年に優先調達推進法が施行されたことも追い風となり、18年度には5倍増の1534万円に増えた。それに伴い利用者の工賃も大幅アップし、**B型平均月額工賃は4万7865円**にまでなった。

阿由葉理事長はさらなる工賃増に向けて取り組みを進める考えだ。

### ～介護ビジネス研究会のご案内～

日時：2019年10月31日（木）  
13:30～16:30(受付13:00～)  
会場：じゅうろくプラザ5階 中会議室2  
岐阜市橋本町1-10-11  
内容：小濱道博先生による特別セミナー  
講師 小濱 道博 氏  
(小濱介護経営事務所)

お問合せ・お申込みは [介護ビジネス研究会](#)



お問合せは  
コチラまで

岐阜県福祉のまちづくり推進協議会

担当：苅谷

〒501-3246 関市緑ヶ丘2-5-78

TEL:0120-337-301

FAX:0575-24-5733

<http://www.koreisyajutaku.jp>

[mail:kriya@nodakensetsu.co.jp](mailto:kriya@nodakensetsu.co.jp)

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて0575-24-5733迄ご返信をお願い致します。

案内  
不要